

令和3年 萩市議会12月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	7	村 谷 幸 治	12月6日午前
2	14	西 中 忍	
3	3	浅 井 朗 太	午後
4	18	宮 内 欣 二	
5	2	森 田 宗 和	
6	4	小 林 富	
7	15	長 岡 肇太郎	12月7日午前
8	17	平 田 啓 一	
9	5	瀧 口 治 昭	午後
10	6	松 浦 誠	
11	1	岡 崎 隆 志	
12	8	五十嵐 仁 美	12月8日午前
13	12	美 原 喜 大	
14	11	松 浦 俊 生	午後
15	10	佐々木 公 惠	
16	13	関 伸 久	

質問順位	1	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 土砂災害警戒区域・特別警戒区域の土地評価について	1. 土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定された土地において固定資産評価額が変わらないのはなぜか		
2. 特殊詐欺など高齢者対策について	1. 萩市における被害状況と被害防止に向けた市の取り組みは		

質問順位	2	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 引きこもっている方やその家族の支援について、どのような認識を持っているのか	<p>1. この件についてはこれまで何度も質問し、支援の必要性などについて訴えてきましたが、市ではこれまで専用相談窓口の設置をしたり、今年度は訪問支援に関する事業の予算化もされています。</p> <p>この訪問支援に関する事業は、藤道前市長や担当課などがその必要性を認識した結果で、小さな一歩かもしれませんが、市が組織として動き出したという大きな出来事だと私は考えています。</p> <p>そこで、田中市長は引きこもっている方やその家族への支援についてどのような認識を持っているかお尋ねします。</p> <p>あわせて小・中学校時の不登校が引きこもりのきっかけになっていることが多いとされていることから、この課題に対し教育の面から教育長はどのように考えているかお尋ねします。</p>		
2. 商品券を配布する事業はどうなっているのか	<p>1. 市民1人に1万円分の商品券を配布する事業が9月議会最終日に可決成立しましたが、当時、早ければ10月下旬ごろには家庭に届くとの説明でした。</p> <p>しかし、11月後半になっても「まだ届かない」という話をお聞きすることから、私は、この遅れの要因に約45万枚もの商品券の準備に時間がかかった事があるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、いつどのような内容で契約を締結し、商品券がいつ納品されたのかお尋ねします。</p>		
3. 中核病院に関する協議が大きく遅れた影響をどう考えているのか	<p>1. 10月28日、中核病院協議会から市長へ報告書が提出されましたが、協議会の結論は中核病院の形成は萩市民病院と都志見病院が統合する手法しかないという事でした。</p> <p>私は、藤道前市長時代行われていた中核病院形成検討委員会の議論や執行部からの説明等を見聞きする中で、中核病院をつくるにはこの2病院の統合しかないと考えていたことから、2月以降、議論が停滞し貴重な時間を無駄にしたのではないかと考えています。</p> <p>そこで、これまで検討委員会で積み重ねてきた議論をゼ</p>		

	<p>ロベースにし、新たな議論をスタートさせた市長は、ご自身が設置した協議会の結論がこれまでと同じだったことについてどのような認識を持っているかお尋ねします。</p> <p>また、協議会設置で発生した議論の遅れで、中核病院の形成等に今後どのような影響が出ると考えているかお尋ねします。</p>

質問順位	3	質問者	浅井 朗 太 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 阿武風力発電事業について	<p>1. 当事業にかかる風力発電機の設置位置はすべて阿武町内の土地になりますが、変電施設と送電ルートは萩市内に及ぶこととなっています。そこで以下お尋ねします。</p> <p>(1) 9月定例会以降、変電施設と送電ルートに関して、事業者から萩市に何らかの説明等がありましたか。あった場合、どのような内容でしたか。</p> <p>(2) 送電線が所有地の上空を通る場合、地上権設定契約や保安林解除は必要ですか。</p> <p>(3) 送電ルート下に、鳥獣保護区などの保護区はありますか。ある場合、変電施設と送電ルート下になる土地についても、環境アセスメントの対象となりますか。</p>		
2. がんばろう！萩市民生活応援事業について	<p>1. 9月29日、9月定例会最終日に可決された当事業の実施進捗状況について以下お尋ねします。</p> <p>(1) 見舞金としての商品券の受け取りについては、辞退もしくは受け取り後返却することを可能とする制度に変更されました。受け取られなかった分の商品券はどのような取り扱いになりますか。また決算処理上どのように示されるかをお尋ねします。</p> <p>(2) 簡易書留で送ることで、配達員が一般業務終了後に残業をせざるを得ない状況もあったと聞いております。届いた封筒には、商品券と使用可能な加盟店舗一覧のみが入っており、受け取り辞退や受け取り後の返還が可能であることは記されていなかったとのことです。その理由をお尋ねします。</p> <p>(3) 国は、地方創生臨時交付金を6兆円以上増額することを検討しているとのこと（11月21日現在）。これは9月定例会当時から予見できた方向性です。当事業は、市長就任前の発言を基にした事業です。他の選挙公約の実施にあたっての準備を見据えて、今回の事業実施が入念かつ建設的な制度設計をする検討が時間的にも十分であったか、前述2点の質問を踏まえて市長のご見解をお尋ねします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
3. 幼保・小中学校の給食無償化について	<p>1. 令和4年度から実施したいと市長が考えておられる給食の無償の目的は子育て世帯への経済的支援の一助ということは先の6月定例会一般質問で市長よりお答え頂きました。実施には一般財源も財源として考えざるを得ないとのことでした。給食無償化について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 6月定例会一般質問の市長答弁では、「今年度中に、関係部署や市内各保育園、幼稚園、小学校、中学校、関係機関や事業者等と調整を行い、令和4年4月から実施することとしております。」とのことでした。関係機関や事業者をできるだけ具体的にお示しいただけますか。</p> <p>(2) また、調整の内容を詳細にお示しいただけますか。</p> <p>(3) 給食費の子育て世帯の経済的支援には、いくつかのパターンが想定できます。完全無償化。一部公的負担。受益者負担分減額に併せて公的負担上乗せによる材料費総額の上昇など。現行の材料費額を全額公的負担する方法のみを検討しているのですか。</p>

質問順位	4	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 中核病院形成について	1. ゼロベースでの検討の結果と今後の方針をどう考えるか 2. 地域医療の充実をどう考えるか		
2. 新型コロナウイルス感染症への対策について	1. 市民の不安を取り除く医療について 2. PCR検査体制の継続と拡充について 3. 経済・福祉対策の評価と今後の方針		
3. 地域振興について	1. 各総合事務所で行った地域懇談会の結果と次年度予算への反映はどうか。予算枠を確保するのか。 2. 地域運営法人の立ち上げへの支援をどうするか。		
4. ダニが媒介する感染症対策について	1. ダニが媒介する感染症の周知と医療対策はすすんでいるか。		
5. 阿武風力発電事業について	1. 環境影響調査の見直しについて 2. 現地調査への要望		

質問順位	5	質問者	森田宗和 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 令和3年度萩市中小企業向け支援策について	<p>1. 萩市中小企業等拡大補助金（販売拡大事業）県外で開催されるもののうち、販売の機会を有するもの、物産展等への出店に要する参加費等の補助上限額が、令和2年度は5万円、令和3年度は3万円に減額された理由をお尋ねします。</p> <p>2. 萩市の業界今一番苦しいのは萩焼の業界と思う。助成金、補助金等でぎりぎり生き残っているのが現状である。観光客が来ない中、3万円では、県外に出て営業するものにとって酷である。その現状を把握しているのかお尋ねします。</p> <p>3. 来年から3回目のワクチン接種が始まろうとしている。県外で展示会、営業をする者にとってチャンスである。萩焼業界に特化した支援策をすべきと思うがお尋ねします。</p> <p>4. 萩焼祭りで年間売上の大半を占める業者の方も多くおられると思う。来年度は、開催するべきと思うがお尋ねします。</p> <p>5. コロナの感染が収まっている。夜の飲食業は冷え切ったままである。忘年会、新年会の時期である。やまぐち安心飲食店認証。萩市のコロナ対策取り組み宣言飲食店に限定し、市役所職員の宴会の基準を作り、推進するべきと思うがお尋ねします。</p>		
2. 山陰自動車道の建設にともない沖原地区、霧口地区、大屋地区の説明会について	<p>1. 山陰自動車道計画が推進されております。沖原、大屋地区の水田が埋め立てられる。田んぼは、治水能力があると言われていた。先般の大雨でも、立川橋大屋川ポンプ小屋では2m22cmの最高水位で、ポンプを稼働した。市は、沖原地区、大屋地区の不安を取り除くため、住民説明会を行い丁寧に説明すべきであるがお尋ねします。</p> <p>2. 霧口地区でも自動車道がダム化するのはどの不安を持っています。霧口地区でも住民説明会を実施すべきと思うがお尋ねします。</p> <p>3. 山陰自動車道の完成後、環境整備、美観のため、椿、大屋、沖原地区の法面では、毎年最低2回草刈りが必要と思うが対応をお尋ねします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
3. 自衛隊員募集について	<p>1. 防衛省は、自衛隊法第97条第1項に基づいて、自衛官募集のために、主に18歳と22歳の住所や氏名を、「紙または、電子媒体」で提出を求めているが、萩市はどう対応しているのかお尋ねします。</p> <p>2. 萩市の、過去5年間の自衛隊入隊人数をお尋ねします。</p> <p>3. 我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増している。自衛隊の対応事態は増加しつつある。こうした中、自衛官の定員不足は、緊急を有するものとする。萩市は、地方協力本部と国の安全確保に向け自衛隊員増に協力していくべきと考えるが、どう思われるかお尋ねします。</p>

質問順位	6	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 浜崎および菊ヶ浜地域周辺の土地活用を促し、企業誘致や産業振興など活性化に向けた取り組みを検討してはどうか</p>	<p>1. 浜崎および菊ヶ浜周辺は萩市が誇るロケーションのひとつであり、特に沿岸部の活用や中長期的展望にどう考えていくか検討していく必要があると思います。</p> <p>これまで民間だけでは活用がなかなか進まなかった課題として、その土地の歴史から長年続く共有地であるということや所有者不明建物の存在、県道との接地面にある国有地、などが挙げられます。</p> <p>(1) 上記の課題解決に向けて地籍調査が有効と思われませんが、どうですか。これまで地域からもさまざまな要望や意見などがあったと思いますが、どのように対応していますか。</p> <p>(2) 他市事例では自治体が要望することで地籍調査を実施した事例がありますが、萩市として要望する考えはありますか。</p>		
<p>2. さらに陸上競技が盛んになる環境整備を進めてはどうか</p>	<p>1. 萩市では毎年、萩市民駅伝や萩城下町マラソンが開催され、今年城下町マラソンではランニング教室が実施されています。</p> <p>全国的なランニングブームによるランナーの増加、子どもから高齢者など幅広く取り組めるスポーツに市民の方々が親しまれることは健康寿命の延伸やコミュニティの形成にも寄与すると考えられます。また、過去より萩市は陸上競技の強豪地域であり、近年も全国大会への出場実績などがございます。</p> <p>陸上競技が更に市民に親しまれ、多世代における交流人口の増加につなげるため、競技や練習に打ち込める環境づくりに向けて質問をします。</p> <p>(1) 日中だけでなく夜間にも陸上競技に打ち込める環境として中央公園やウエルネスパーク萩のスポーツ広場が挙げられますが、中央公園では本格的な陸上競技の練習は出来ず、スポーツ広場は日没以降の個人での使用が認められていません。県内他市施設と比べて変更すべきと考えますが、どう対応しますか。</p> <p>(2) 萩ウエルネスパーク全体で特に平日の利用者増加を目指す取り組みや目標設定はどのように行っていますか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>(3) 令和5年から中学校の休日部活動の地域移行が検討される中、地域総合型スポーツクラブが受け皿になると考えますが、検討状況はどうですか。また、活動拠点となる環境整備について、以前の一般質問で検討に挙げたタータン整備の検討状況はどうですか。</p>
<p>3. 新型コロナウイルスによる修学旅行の実施状況およびキャンセル時の対応はどうか</p>	<p>1. 昨年から今年にかけて新型コロナウイルスの影響により修学旅行の中止や延期となりました。コロナ禍での修学旅行のキャンセル時の対応、就学支援世帯への対応についてお聞きします。</p> <p>(1) 今年度は多くの学校で修学旅行が実施されたものの、一部では延期によるキャンセル料が発生して保護者負担となったとのこと。学校で差が出ていることの原因は何ですか。また、補填の検討はしませんか。</p> <p>(2) 就学支援世帯には修学旅行の代金は実費負担とのことですが、キャンセル代についてはどうなりますか。</p>
<p>4. 萩市でのDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組み状況はどうか</p>	<p>1. 今年度から新たに設けられたDX推進室を中心として7月から、第1回萩市DX推進本部会議が開催されています。DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略称です。自治体では、デジタル技術やデータの活用により業務・組織などが変革、住民サービス向上や経費削減、新たな形での行政施策になるのではと考えています。</p> <p>(1) RPA（定型型業務の自動化）により年間2,000時間（約560万円）の削減が見込まれていますが、現在の導入に向けた課題とRPA導入による費用対効果を更に高めるためにどのように取り組むか。</p> <p>(2) コロナ禍で生活様式が変化していますが、広報の在り方や地域通貨などの検討はどうですか。</p>

質問順位	7	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 商工・水産行政 (相島航路と相島港 の工事の進捗)	1. 相島航路新船建造計画に対する進捗状況について 2. 相島港の岸壁・防波堤等の工事の進捗状況について		

質問順位	8	質問者	平田啓一議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 農業後継者・担い手の育成支援について	1. 農業者に1千万円の一括支援 2. 就農者の研修期間5年間		
2. ウェルネスパーク大型複合遊具「夏みかんランド」の維持・管理について	1. 目立ってきた錆、遊具の修理・安全性は。		
3. 文化財保護行政（大照院の整備）について	1. 国重要文化財「大照院」の整備はどのようになっていますか。		

質問順位	9	質問者	瀧口治昭議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 定住人口への対策について	<p>1. 定住人口の減少問題については、すでに何度も質問をしていますが、将来人口の減少が、さらに一段と厳しくなる事が予測されるという現状においては、その対策について質問せざるを得ないと思い、今回は住宅についてお聞きします。</p> <p>まず、10月に議会より執行部に対して出された緊急提言書について、つい先日その回答書が議会に届いたところですが、その中でコロナ禍での地方回帰の流れに合わせた人口定住策として、若者世代を対象とした家賃、賃貸料の軽減策などを考えられないかと提案をしたところですが、提案についての是非の回答ではなく、人口減少に歯止めをかけるための施策を長期的な視点に立ち、展開していくことが必要とありますが、人口減少が加速されつつある萩市の現状において少しスピード感が無いのでは、と感じますが、どうでしょうか。</p> <p>さらに、公営住宅の家賃については、中心部と周辺地域の家賃において、ある程度の段階的な差をつけることが考えられないのかお聞きします。</p>		
2. 市道に対しての要望への対応について	<p>1. 前回9月定例会でも市道についてお聞きしましたが、市民より改良、拡幅等の要望があった場合、直ぐに対応できない案件については、その扱いはその後、どのようにされているのかお聞きします。</p> <p>また、市道の新規建設工事、改良工事については要望行為によって工事が行われるのか。または市、自らの判断により行われるのか、お聞きします。</p>		

質問順位	10	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 福祉対策について	1. 障がい者の方の合理的配慮について 2. 心のバリアフリー教育について		
2. 女性のデジタル人材について	1. 女性のデジタル人材の育成について		
3. 遊具の管理について	1. 市内公園や保育園、小学校の遊具の点検、取替え状況について 2. 今後の管理について		

質問順位	11	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 「がんばろう萩！市民生活応援事業」における市内共通商品券の手配プロセスについて</p>	<p>1. 本事業は9月定例会で可決した補正予算の事業の一つで、これにより、全市民に一人あたり1万円分の市内共通商品券が配布されました。議会で可決した以上、大きな事業効果がもたらされることを期待しております。経済効果の検証については次回以降に質問いたしますので、しっかりと分析を進めておいて頂きますようお願い致します。</p> <p>他方で、多くの議員が疑問に感じている「本事業に使用された市内共通商品券は、どの様なプロセスで手配・納品されたものなのか」については、しっかりと確認しておく必要があります。</p> <p>(1) この商品券は、いつ、誰が商品券組合に打診し、手配を依頼したのか</p> <p>(2) いつ発注したのか</p> <p>(3) いつ納品され、誰が封詰めしたのか</p> <p>などの、詳細なプロセスについてお尋ねします。</p> <p>商品券が、複数の企業・団体等を経ている場合は、時系列で詳細にご答弁下さい。</p>		
<p>2. 農作物被害への支援等のあり方について</p>	<p>1. 9月定例会で「8月の長雨による農作物被害への支援策」について質問しました。また、市長への議会からの緊急提言においても同被害への支援策の提言がなされました。その答弁や回答では「県が支援策を講じた場合のみ市としても支援策を検討する」という内容でした。私はこれに非常に強い違和感を感じました。国や県がやらないから市がやる。本来、これが市の役割、あるべき姿ではないでしょうか。県がやるなら市もやるというのでは、ただかさ上げをしているだけで、市の主体性は全くありません。市の存在意義が完全に欠如しています。農作物被害への支援策にかかわらず、この様なことが他にもあるのであれば、それらは全て改めるべきと思料します。</p> <p>市長は第一次産業の振興支援を公約とし、農業者からは非常に期待されておりました。前例踏襲ということであれば、何も変わりません。この様な支援策を積極的に推し進めるような変化を期待されているのだと思料しますが、どの様にお考えかお尋ねします。</p>		

質問順位	1 2	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 堀内伝建地区について	<p>1. 「古明倫館」の跡地が、民間事業者によって買収され、観光関連施設として利用されることになったが、本来、市が取り組むべき事業ではないか。</p> <p>2. 保存活用計画には、どのように位置づけられていたのか。</p> <p>3. 事故を防ぐために石垣塀にミラーを設置したかったが、市から止められた。市が他の方法を提供するべきではないか。</p> <p>4. 家の建築など、制限が多く、維持費もかかるため、若い人が入ってきにくい。観光や歴史まちづくりも大切だが、住民の生活を守ることも考えるべきではないか。</p>		
2. 「がんばろう萩！市民生活応援事業」について	<p>1. 10月下旬から11月上旬には届くはずが、現在、約2割の世帯に届いていない。遅れているのはなぜか。商品券の印刷に時間がかかったのか。</p> <p>2. この事業の取り組み決定後に、すぐ2つの国政選挙が続き、投票入場券の郵送がされ、郵便局の業務が立て込んでいた。この時期の対面する簡易書留は無理があったのではないか。考慮したか。</p> <p>3. 受け取り拒否はどのくらいあったのか。また、その商品券はどうなるのか。</p> <p>4. DVのある家庭は調査し、対応するということがあったが、問題なく届けられているか。</p> <p>5. 一人世帯で、病院や施設に入っている場合は受け取れないがどうなるのか。</p> <p>6. 外食するのに一人だと1,000円分も食べられない。500円券も必要だったのではないか。</p> <p>7. 新規の商品券協同組合への加入事業者が、ホームページでしか確認できないので、利用しにくい。他に確認する方法はないのか。</p> <p>8. 組合への加入促進は、いつまで続くのか。市民へ商品券の早期利用を進めているが、全て加入者が決まって利用してもらおうべきではないか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
3. 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>1. 希望者の約9割がワクチン接種を終了しているが、残る1割は、どうなるのか。</p> <p>2. 自宅でワクチン接種を希望する人の接種状況は、どうなっているか。訪問診療をしている診療所や病院と連携はとれているか。</p> <p>3. 感染「第5波」が収束したことにより、県内外の移動が増えそうだが、再度、無料のPCR検査の実施が必要にならないか。</p> <p>また、岸田首相が、ワクチン接種ができない人のみを対象に、無料検査を来年3月まで行うというが、市では、どのように実施するのか。</p> <p>4. 政府は、ワクチン・検査パッケージを打ち出し、社会経済活動を回すことを考えているが、ブレークスルー感染もあり、重症化の危険のある非接種者への感染が懸念されます。特別な事情がない非接種者へも接種を広げる必要があるのではないか。</p> <p>5. 「第6波」に備えて、県では病床数を増やしているが、それに応じるスタッフは補充されているか。</p> <p>6. 高齢者施設や医療機関などのハイリスクのところや、ワクチン接種していない子どもがいる学校や保育園などでは、ウイルスをいれないために、スクリーニング基準を明確にし、感染状況に応じて定期的にスクリーニングをかけていくべきではないか。</p> <p>7. 政府は、感染拡大で医療がひっ迫する最悪の事態に至った場合は、コロナ以外の通常医療を制限するとしているが、これに従うつもりか。</p>

質問順位	13	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 中核病院と救急医療体制について	<p>1. 救急医療体制及び今後の働き方改革への対応は、医師会にて図る要素と考えられるが市長はどう捉えているか。</p> <p>2. 救急医療体制整備を中核病院の中に組み込み、整備計画をたてようとしている。問題のすり替えに見えるが、市長はどう捉えているか。</p> <p>3. 中核病院の医師の確保は大丈夫か。(統合後高齢化の医師が辞めた時に、本来の業務と救急医療体制へ対応ができるだけの医師の確保は、現実性があるのか。今と変わらないことに成り得はしないか。)医師不足は山口県でも慢性病で有り、特に人口の少ない萩市においては、確保は難しいと思われる。(産婦人科医及び放射線技師は無理との回答が以前あったが、そう言った面の解消は出来るのか。)</p> <p>4. 既に方向性は決められているようだが、事業費は100億とか150億とか聞こえてくる。市の財政的負担は大丈夫か。萩市は過去2回の財政再建団体となっている。安易に考えてはいけない。3度目は恥となる。財政的にどう判断して方向性を決められたか。</p>		
2. 事業所や農業法人の次期代表者は大丈夫か	<p>1. 事業所や農業法人で次期代表者が決まっていない割合が高いと聞く。割合はどのようなものか。事業所と農業法人に分けて最新情報を示して欲しい。</p> <p>2. 次期代表者が決まっていないところは、事業所等消滅する可能性が有り、地域活力衰退や人口減少に拍車がかかる。今後どのように対応を考えているか。早急に対応する必要がある。</p>		
3. 萩市への定住要素について	<p>1. 「おいでませ萩市へ」への提案(萩市へ定住への売りは何か)</p>		

質問順位	14	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 人口減少及び定住対策について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 萩市から民間へ調査委託した結果及び反映について 2. 地域振興計画・夢プランの状況について 3. インターチェンジ周辺のまちづくりプランについて 		
2. 子宮頸がんワクチンについて	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子宮頸がんワクチンのこれまでの動向について 2. 子宮頸がんワクチンの機会を逃した人について 3. 子宮頸がんの検診受診率について 		

質問順位	15	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 糖尿病の重症化予防の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> 1. 糖尿患者の現状および透析患者数、医療費について 2. 特定健診の結果が糖尿病判定値の方や治療中断者への受診勧奨の取り組みについて 3. レセプトを活用し、健診を受けていない治療中断者への受診勧奨への取り組みについて 		
2. オストメイトへの支援について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 災害時の避難所について 2. 財政的支援について 3. 高齢のオストメイトへの支援について 		
3. 学校内における人権教育について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 学校内における子どもの制服のあり方について 2. 選べる制服について 		

質問順位	16	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 下水道の接続率をいかに向上させるか(まちから悪臭を取り除こう)	<p>1. 三角州内の下水道接続率について訊ねる。下水道の整備率は、ほぼ100%と仄聞しているが、接続率はどうなっているか。</p> <p>夏場になると、商業地域にある溝蓋から悪臭が漂うとの苦情が多く寄せられる。特に、吉田町の商業地域周辺の悪臭は、酷いと聞く。吉田町は例年夏まつりの会場にもなり、飲食屋台が軒を連ね、多くの人々で賑わう場所でもある。早急な対応が必要ではないか。これは、下水道の未接続に起因していると思われることから、市として、どのような対応を考えるのか。</p>		
2. 市民一人一万円をどう総括するか	<p>1. 先の9月定例会で市民一人あたり一万円の市内共通商品券を支給する「がんばろう萩！市民生活応援事業」が可決され、商品券の郵送が進んでいる。商品券が家庭に届き、喜びの声も多く寄せられているが、市議会では賛否は拮抗し、10対9の結果であった。これを機に反対された声に耳を傾け、次につながる事業としなくてはならない。この事業は、商品券を支給して終わりではない。</p> <p>ついては、下記の点についてお訊ねする。</p> <p>(1) 商品券の郵送はどれだけ進んだか。(支給率)</p> <p>(2) この商品券は受取り辞退も可能と聞いているが、辞退者数はどのくらいか。</p> <p>(3) 9月定例会時点では、商品券の使える事業者が、218事業者と少なく、経済効果が限られるとの指摘があるが、直近の取扱い事業者数はどれだけ増えているのか。また、増やす為に市ではどのような取組みを行ったのか。</p> <p>(4) 当初、経済センサス上の市内の事業者は、3,000を超えるとのことだったが、このなかには、商品券を使用するに適さない事業者も含まれていると推測される。正味の事業者数はどのくらいと認識しているか。</p> <p>(5) 市民や事業者のなかには、他市の事例のように大型店と中小零細店に分けて2種類のクーポンを支給すべきではなかったか、との声がある。傾聴に値すると思うが、次の機会にその声は届くのか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>(6) 事業者のなかには、商品券の換金場所が限られることから、不便を感じているところもある。特に旧郡部に多い。対策をどのように講じているか。</p> <p>(7) 今後、市内の循環経済をいかに成立させるかが、産業振興のポイントの一つと思料するが、市ではどのようなことを考えているのか。DX（デジタルトランスフォーメーション）が社会的に求められているなか、市独自の電子通貨、電子クーポン等の取組みを進めていく考えはあるのか。</p>
<p>3. コロナ禍における飲食店の納入事業者に更なる支援を</p>	<p>1. 新型コロナウイルスの第5波が収束しつつあるが、同時に第6波の備えが声高に叫ばれている。</p> <p>今回の第5波では、山口県で初めて飲食店等に営業時間短縮要請が発出された。これにより、協力金と引換えに休業する飲食店が多く見受けられる一方で、その飲食店に食材や酒類を納入する事業者からは悲痛な叫びが届く。</p> <p>彼らの主張としては、飲食店は協力金を受取ることによって十分な経済支援を受けるが、納入事業者には十分ではない、というものである。ご指摘の通り、今回の協力金は、納入業者は対象ではない。</p> <p>萩市のコロナ禍における経済対策は、他市と比較して、よくやっていると評価しているが、なかにはこうした盲点も存在する。</p> <p>そこを照らして対処していくのが、基礎自治体としての市の務めと考えるが、どうか。第6波到来時は、こうした点に配慮して、政策を進めて欲しい。</p>